

2026年度
研究倫理
セミナー

論文作成における倫理

論文作成における基本的なことがらについて、ここ数年の間に大学院において論文の盗用に対する無頓着さが目立つようになってきている。他の研究者の論文を盗用して論文を作成して、研究者として身分を失う事例が新聞で報道されることもある。

なぜ他人の書いたものや他人の研究成果を、そのまま自分のものとして用いてはならないのか。この基本的な事柄も知らずに、無意識にコピー作業が行われることがある。

研究とは何か、その根源的なことを知らずに、論文作成作業に向かうのは不幸なことである。他人の業績にもっぱら依拠する態度は、研究ではない。文献を読まずに引用することは、研究者としては、恥ずべきことである。むしろ、研究を正面から否定することになる。盗用は論文作成することによって、研究それ自体を否定することになる社会的にも恐ろしく害を与えることになる危険な行為である。単なる学びと研究とは異なる。

このことについて知る機会を提供したいと考えている。

講師：松川正毅 教授

(大阪学院大学大学院 大学院部長・法学研究科長)



日時：2026年3月21日(土) 10:30～11:30

場所：本学5号館地下1階01教室

対象：大学院在学生

お問合せ：大阪学院大学大学院教務事務室

E-mail: gsoffice@ogu.ac.jp / TEL: 06-6381-8434